

復の思想的水準以上の理論的問題を取扱ひ又はその

講演の内容及表現を濫りに高尚にしてはふらない。

討論会、年論会、労働学校、農民学校。

各支部は教育運動に当りて特に左翼の調ふところの『左翼は理論的だが右翼は理論を有たず』との迷ひ女を一掃するに努力せねばならぬ。（こゝを執るものであつて、断じて大衆と共

由來左翼は精銳分子中心主義の立場に運動を進展せしめんとするの熱意と忍耐とを有つものでない。その把持するところの理論は徒らに現實無視の高踏的なるものにして、革命の目標として進む。従つて、彼等は大衆の今日及び明日に互りて解決の急を告ぐる現實の生活問題に対しては何等の関心を有たず。彼等は常に大衆即ち衆愚なりと暴言して是の大衆の無智こそ革命の乗ずべき間隙なりと説き而も其の内部の組織たるや、極めて、非民主的な一、二、取高幹

部の絶対専制である。

然るに右翼即ち吾社会民衆党の立場は、飽くまで國情に即し資本主義發展の段階に照應する最も有効なる戦術を以つて社會の漸進的改造と既成政党の撃滅を企圖する。之れば吾党は常に大衆と共に歩むことを念願し、其の掲ぐるところの政策は総て此大衆の要求する現實的焦眉の問題なのだ。而して党の組織、活動及び指導方針の決定は總べて民主々義的にして、絶対に共産党式の少数幹部の專制を赦さぬのである。

即ち以上左翼の差違を一口に概言するならば、左翼の社會觀は、概念的公式主義にして、吾党のそれは、科學的社會民生主義であると云へる。